

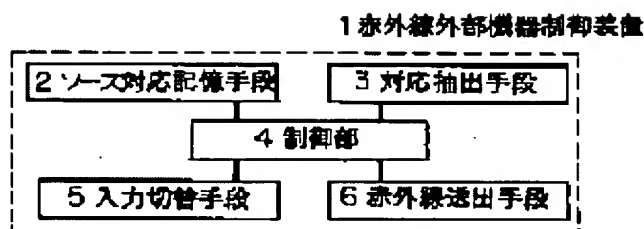
INFRARED EXTERNAL APPARATUS CONTROLLER

Patent number: JP7131868
Publication date: 1995-05-19
Inventor: KASHIWABARA KAZUYUKI; others: 01
Applicant: MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD
Classification:
- **international:** H04Q9/00; H04N5/00; H04N5/44
- **europaen:**
- **Application number:** JP19930273435 19931101
Priority number(s):

Abstract of JP7131868

PURPOSE: To perform the operation without paying the attention to the difference between incorporated sources and external sources neither to the difference of media.

CONSTITUTION: The source correspondence table where channels of a tuner or the other sources, apparatus, and external input terminals correspond to source numbers of an AV system is held in a source correspondence storage means 2. A correspondence extracting means 3 collates a source number with the source correspondence table in the source correspondence storage means 2 to extract corresponding source, apparatus, and external input terminal. An input switching means 5 switches the input of the AV apparatus to the extracted external input terminal. An infrared sending means 6 sends the infrared signal which sets the channel or the source of the corresponding apparatus to the reproducing state. Thus, an operator can perform the operation without paying his attention to the difference between incorporated sources and external sources neither to the difference of media.



Data supplied from the **esp@cenet** database - Patent Abstracts of Japan

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平7-131868

(43) 公開日 平成7年(1995)5月19日

(51) Int.Cl. ⁶	識別記号	序内整理番号	F I	技術表示箇所
H 0 4 Q 9/00	3 0 1 E	7170-5K		
	3 1 1 U	7170-5K		
	3 3 1 Z	7170-5K		
H 0 4 N 5/00	A			
5/44	A			

審査請求 未請求 請求項の数 1 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号	特願平5-273435	(71) 出願人	000005821 松下電器産業株式会社 大阪府門真市大字門真1006番地
(22) 出願日	平成5年(1993)11月1日	(72) 発明者	柏原 和行 広島市東区光町1丁目12番20号 株式会社 松下電器情報システム広島研究所内
		(72) 発明者	岩名 謙治 広島市東区光町1丁目12番20号 株式会社 松下電器情報システム広島研究所内
		(74) 代理人	弁理士 小鍛冶 明 (外2名)

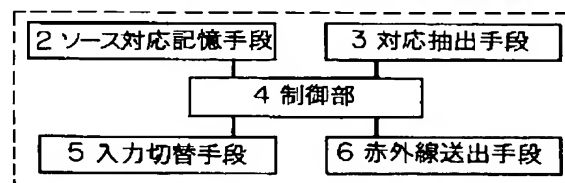
(54) 【発明の名称】 赤外線外部機器制御装置

(57) 【要約】

【目的】 内蔵ソースと外部ソースの違いや、メディアの違いを意識することなく操作することを可能とする。

【構成】 ソース対応記憶手段2は、チューナーのチャンネルもしくはその他のソースと、機器と、外部入力端子とをAVシステムのソース番号に対応させたソース対応表を保持する。対応抽出手段3は、ソース番号とソース対応記憶手段2のソース対応表とを照合し、対応するソースと機器と外部入力端子とを抽出する。入力切替手段5は、AV機器の入力を抽出された外部入力端子に切り替える。赤外線送出手段6は、対応する機器のチャンネルもしくはソースを再生状態にする赤外線信号を送出する。これらにより、内蔵ソースと外部ソースの違いや、メディアの違いも意識することなく操作することが出来る。

1 赤外線外部機器制御装置



【特許請求の範囲】

【請求項 1】外部入力端子を持つ A V 機器の外部入力端子に A V ソース（以下外部ソースと称する）の出力が接続してある A V システムの制御に用いる赤外線外部機器制御装置であって、

前記 A V システムのソース番号として、チューナーのチャンネルもしくはその他のソースと、前記チャンネルもしくはソースを含んでいる機器と、前記機器が接続されている外部入力端子とを対応させたソース対応表を保持しているソース対応記憶手段と、

現在選択されているソース番号とソース対応記憶手段が保持するソース対応表とを照合し、前記ソース番号に対応するチャンネルもしくはソースと、前記チャンネルもしくはソースに対応する機器と、前記機器に対応する外部入力端子とを抽出する対応抽出手段と、

前記 A V 機器の入力を前記対応抽出手段により抽出された外部入力端子に切り替える入力切替手段と、

対応抽出手段により、前記ソースが外部ソースと抽出された場合、前記対応する機器の前記抽出したチャンネルもしくはソースを再生状態にする赤外線信号を送出する赤外線送出手段とを備えたことを特徴とする赤外線外部機器制御装置。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【産業上の利用分野】本発明は、A V システムのソース番号として、チューナーのチャンネル一つおよびその他のソースを割り当てることにより、A V 機器の内蔵ソースと外部ソースの区別やメディアの違いを意識することなく制御出来る赤外線外部機器制御装置に関するものである。

【0002】

【従来の技術】近年、衛星放送や C A T V など、従来のテレビやビデオの内蔵チューナーでは受信出来ない放送が行われるようになり、外部入力端子に様々な機器を接続して使用するようになってきた。

【0003】以下図面を参照しながら、従来の例について説明する。図 2 は A V システムの一例である。図 2 において、T V の外部入力端子の一つに V T R の出力が接続され、V T R の外部入力端子に、B S チューナーと、C A T V のターミナルと、ビデオディスクプレーヤーの出力が接続され、B S チューナーにデコーダーが接続されている。

【0004】以上のように接続された A V システムにおいて、B S 放送を見るときは、T V のチャンネルを外部入力にし、V T R のチャンネルを B S チューナーの接続されている外部入力端子に対応する外部入力にし、B S チューナーのチャンネルを選択する。選択したチャンネルがスクランブル放送の場合は、さらにデコーダーの電源を入れる。

【0005】ビデオディスクを見る場合は、T V のチャ

ンネルを外部入力にし、V T R のチャンネルをビデオディスクプレーヤーの接続されている外部入力端子に対応する外部入力にし、ビデオディスクプレーヤーを再生にする。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら上記のような構成では、関係する機器すべてを操作せねばならず、面倒であるという問題点を有していた。

【0007】本発明は上記問題点に鑑み、外部入力端子に接続された機器の赤外線制御手段を利用することにより、内蔵ソースと外部ソースの違いや、メディアの違いを意識すること無く制御出来るよう操作を簡略化する赤外線外部機器制御装置を提供することを目的とする。

【0008】

【課題を解決するための手段】上記問題点を解決するために本発明の赤外線外部機器制御装置は、A V システムのソース番号としてチューナーのチャンネルもしくはその他のソースと機器と外部入力端子とを対応させた対応表を記憶しているソース対応記憶手段と、ソース番号と前記ソース対応記憶手段とを照合しソース番号に対応するチャンネルもしくはソースと機器と外部入力端子とを抽出する対応抽出手段と、A V 機器の入力を対応する外部入力端子に切り替える入力切替手段と、前記対応する機器の対応するソースを再生状態にする赤外線信号を送出する赤外線送出手段とを備えたものである。

【0009】

【作用】本発明の赤外線外部機器制御装置は上記した構成によって、A V システムのソース番号に内蔵チューナー外部チューナーのチャンネル、外部ソース、内部ソースをそれぞれ対応させ、外部入力端子に接続された機器に対しては赤外線信号により制御信号を送出するので、内蔵と外部の違いや、メディアの違いを意識すること無く入力を切り替えられ、操作を簡略化することとなる。

【0010】

【実施例】以下本発明の一実施例の赤外線外部機器制御装置について、図面を参照しながら説明する。

【0011】図 1 は本発明の実施例における赤外線外部機器制御装置の構成を示すものである。図 1 において、制御部 4 は、ソース対応記憶手段 2、対応抽出手段 3、入力切替手段 5、赤外線送出手段 6 の各手段の動作を制御するものである。

【0012】ソース対応記憶手段 2 は、ソース番号にソースと機器と外部入力端子を対応させたソース対応表を保持する手段である。図 4 にソース対応表の一例を示す。対応抽出手段 3 は、現在のソース番号とソース対応記憶手段 2 とを照合し、対応するソースと機器と外部入力端子を抽出する手段である。入力切替手段 5 は、入力を対応抽出手段 3 により抽出されたソース番号に対応する外部入力端子に切り替える手段である。赤外線送出手段 6 は、対応抽出手段 3 により抽出されたソースを再生

状態にする赤外線信号を送出する装置である。

【0013】上記赤外線外部機器制御装置1の動作に付いて、図3のフローチャートを参照しながら説明する。ソース番号の選択が行われると、対応抽出手段3が前記ソース番号に対応するソースと、機器と、外部入力端子とをソース対応記憶手段2から抽出する(ステップS1)。入力切替手段5がAV機器の入力を対応抽出手段3が抽出した対応する外部入力端子に切り替える(ステップS2)。対応抽出手段3が抽出した外部入力端子により外部ソースかどうか判断する(ステップS3)。ステップS3において外部ソースと判断されなければ、対応するソースの再生をする(ステップS4)。

【0014】ステップS3において外部ソースと判断されれば、対応抽出手段3が抽出した対応する機器の抽出した対応するソースを再生状態にする赤外線信号を、赤外線送出手段6が送出する(ステップS5)。

【0015】このように赤外線外部機器制御装置が外部入力端子に接続された機器を制御するので、内蔵と外部の違いや、メディアの違いを意識すること無く入力を切り替えられ、操作を簡略化することが出来る。

【0016】

【発明の効果】以上のように本発明は、外部入力端子を持つAV機器の外部入力端子にAVソース(以下外部ソースと称する)の出力が接続してあるAVシステムの制

御に用いる赤外線外部機器制御装置であって、AVシステムのソース番号として、チューナーもしくはその他のソースと、機器と、外部入力端子とを対応させたソース対応表を保持するソース対応記憶手段と、ソース番号とソース対応記憶手段のソース対応表を照合し、対応するソースと機器と外部入力端子とを抽出する対応抽出手段と、AV機器の入力を抽出された対応機器に切り替える入力切替手段と、対応機器のチャンネルもしくはソースを再生状態にする赤外線信号を送出する赤外線送出手段とを備えたので、内蔵ソースと外部ソースの区別やメディアの違いを意識することなく操作することが出来、操作を簡略化することが出来る。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例における赤外線外部機器制御装置の構成図

【図2】AVシステムの構成例を示す図

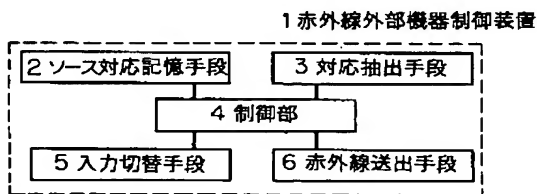
【図3】本発明の一実施例における赤外線外部機器制御装置の動作を説明するフローチャート

【図4】本発明の実施例におけるソース対応表を示す図

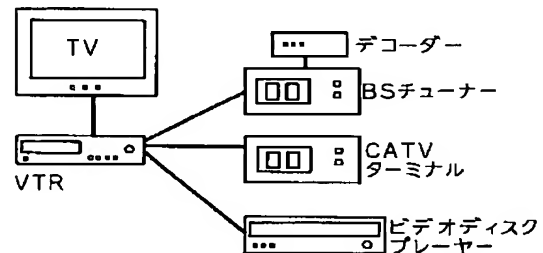
【符号の説明】

- 2 ソース対応記憶手段
- 3 対応抽出手段
- 5 入力切替手段
- 6 赤外線送出装置

【図1】



【図2】



【図4】

ソース番号	機器	ソース	接続
1	A	CH6	内蔵
2	A	CH8	内蔵
3	A	CH10	内蔵
4	A	VTR	内蔵
5	B	BS-CH7	外部入力端子1
6	C	VDP	外部入力端子2
7	D	CATV-CH32	外部入力端子3
8	D	CATV-CH36	外部入力端子3
9	E	VTR	外部入力端子4
10	E	BS-CH11	外部入力端子4

【図3】

